

第 30 回コカ・コーラ環境教育賞 最終選考に進む全 13 団体を決定

～10 月 5 日(土)15 時より、表彰式をライブ配信～

公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団(所在地:東京都渋谷区、理事長:佐々木康行、以下当財団)は、環境の保全、啓発、美化および環境教育に関する顕著な活動を顕彰する「第 30 回コカ・コーラ環境教育賞」(以下、本賞)の最終選考へ進む全 13 団体を選出いたしました。

第 30 回 コカ・コーラ環境教育賞 最終選考ノミネート団体: 13 団体 (北から順)

活動普及部門: 8 団体

<小学生: 4 団体>

- 地球★プロテクト とあるた (大阪府大阪市)
- NPO 法人 SDGs Spiral (福岡県北九州市)
- team 長崎シー・クリーン (長崎県長崎市)
- 色響(IRO&HIBIKI) (鹿児島県鹿児島市)

<中学生: 4 団体>

- 新渡戸文化中学校 (東京都中野区)
- 玉川学園サンゴ研究部 (東京都町田市)
- 草津市立松原中学校 (滋賀県草津市)
- うるま市立彩橋小中学校 (沖縄県中頭郡)

企画・研究推進部門: 5 団体

- 青森県立名久井農業高等学校 FLORA HUNTERS AQUA (青森県三戸郡)
- 清風高等学校 生物部 アオコ班 (大阪府大阪市)
- 山陽学園高等学校 地歴部 (岡山県岡山市)
- 広島県立西条農業高等学校自然科学部 (広島県東広島市)
- 沖縄県立宮古総合実業高校 環境班 (沖縄県宮古島市)

第 30 回 コカ・コーラ環境教育賞 表彰式ライブ配信 URL

<https://www.cocacola-zaidan.jp/environment/env-prize/30th/>

(表彰式開始予定:15:00)



最終選考および表彰式は、10月5日(土曜日)、オンライン形式にて開催いたします。同日午前にはプレゼンテーションによる最終選考をおこない、本年度各受賞団体を決定。同日午後には受賞団体の発表、表彰をおこないます。

表彰式の模様は、当財団ホームページ内特設ページ(<https://www.cocacola-zaidan.jp/environment/env-prize/30th/>)にて、15時よりライブ配信をおこなう予定です。

最優秀賞受賞団体のうち、2団体には、文部科学大臣賞、環境大臣賞のいずれかをあわせて授賞いたします。また、受賞団体、個人を対象に、北海道夕張郡のコカ・コーラ環境ハウスに於いて、全国各地の受賞団体が一同に会して交流を深め、自然を学ぶ体験学習会(2024年11月2日～4日)を実施します。

本賞は1994年の設立以来、環境教育・環境保全活動の促進を目的に、地域に貢献するボランティア活動の助成・支援をおこなっており、これまでの応募団体数は、全国で2,400以上に上ります。

■ 第30回コカ・コーラ環境教育賞 概要

名称	第30回コカ・コーラ環境教育賞												
主催	公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団												
協力	読売新聞社												
後援	文部科学省、環境省												
部門・テーマ	<p>【活動普及部門】 対象:①小学生およびその指導者 ②中学生およびその指導者 募集テーマ: つくる責任・つかう責任 「SDGs 12 つくる責任・つかう責任」に関する活動、取り組み(特に、資源の循環を推進しているものが望ましい。)</p> <p>【企画・研究推進部門】 対象:高校生、高専生、大学生、大学院生およびそれら学生を活動主体とする非営利団体 募集テーマ: 容器/PET、水 容器/PETまたは水に着目した環境に関する取り組み、特に資源の循環を促進する取り組み、研究</p>												
表彰	<p>【活動普及部門(小学生)】</p> <table border="1"> <tr> <td>最優秀賞</td> <td>助成金 30万円</td> </tr> <tr> <td>優秀賞</td> <td>助成金 10万円</td> </tr> </table> <p>【活動普及部門(中学生)】</p> <table border="1"> <tr> <td>最優秀賞</td> <td>助成金 30万円</td> </tr> <tr> <td>優秀賞</td> <td>助成金 10万円</td> </tr> </table> <p>【企画・研究推進部門(高校生以上)】</p> <table border="1"> <tr> <td>最優秀賞</td> <td>助成金 100万円</td> </tr> <tr> <td>優秀賞</td> <td>助成金 10万円</td> </tr> </table> <p>註1) 授賞数は応募総数や応募内容に応じて最終的に決定します。最優秀賞を含め、該当する団体がいないと判断した場合は「授賞なし」とする場合があります。 註2) 「企画・研究推進部門」の最優秀賞受賞団体、および「活動普及部門」の最優秀賞受賞2団体のうちの1団体に、文部科学大臣賞もしくは環境大臣賞のいずれかを授賞する予定です。</p>	最優秀賞	助成金 30万円	優秀賞	助成金 10万円	最優秀賞	助成金 30万円	優秀賞	助成金 10万円	最優秀賞	助成金 100万円	優秀賞	助成金 10万円
最優秀賞	助成金 30万円												
優秀賞	助成金 10万円												
最優秀賞	助成金 30万円												
優秀賞	助成金 10万円												
最優秀賞	助成金 100万円												
優秀賞	助成金 10万円												

第30回コカ・コーラ環境教育賞 最終選考ノミネート団体 概要

■活動普及部門(小学生)

●地球★プロテクト とあるた (大阪府大阪市)

海や川の清掃活動や珊瑚再生活動に参加しています。海や川には人間が捨てたゴミがたくさん流れています。ゴミで海の生き物達が苦しんでいる事を知らない人も多く、清掃活動のイベントで、いろんな世代の方に興味関心をもってもらえるように『2人で作ったユーモアたっぷりの劇』をしたり、『ゴミをステキなアクセサリーに甦らせるワークショップ』に取り組んだりしています。ゴミを増やさない事や再利用する事、川や海に流れてしまったゴミの回収活動の大切さを広め、大阪の清掃活動を盛り上げています。

●NPO 法人 SDGs Spiral (福岡県北九州市)

本活動は、障害者が主体となって今ある複数の課題を多くの人と力を合わせ解決しながら万華鏡を作るプロジェクトです。「竹林整備・森林保全」「海岸清掃」「ワークショップ」の三部構成となっており、山や海など様々な課題を同時に解決・改善しながら SDGs 万華鏡を作ります。

●team 長崎シー・クリーン

当団体は、「世界遺産・軍艦島が映える海を守ろう！」をスローガンに国・県・市や地域と連携して①海岸、河川、港、道やその周辺の清掃・美化、②環境教育、環境調査・研究、③海洋生物多様性の保全・保護、④地域資源の活用、地域振興、地域活性化、⑤地域の魅力発信を行っています。

●色響 (IRO&HIBIKI) (鹿児島県鹿児島市)

明日の地球を守るために何が出来るかを考える鹿児島県のグループで、小中高校生と音楽や色彩、創作、環境などの体験型ワークショップを行っています。海洋プラスチックゴミ問題に取り組み、漂着物で楽器を作り、オリジナル絵本「海からのメッセージ」を制作。オリジナル音楽を作曲し演奏活動をしています。

■活動普及部門(中学生)

●新渡戸文化中学校 (東京都中野区)

生徒の興味や関心に合わせてグループをつくり、生徒主体で探究活動を行う「ラボ活動」。その1つ、AFF ラボでは、生徒自らアポイントをとり、SDGs 推進企業を訪問。30を超えるパートナーシップの中で、プロジェクトを発足。「森林保全」を目的としたアクションは、アワード受賞やアンバサダー就任など社会にインパクトを与える。

●玉川学園サング研究部 (東京都町田市)

玉川学園サング研究部は、生徒の声から発足した部活であり、2011年より発展し続けている部活である。13年経った現在、「研究班」「移植班」「広報班」の3つのチームを構成し、生徒が主体的に環境問題に挑戦できるプラットフォームが形成されている。今年も企業、地域の方、テレビで活動を見た方など多くの方々に支えられつつ、学園で育成したサングを生徒自ら伊江島へ運搬、移植に挑戦した。様々な地域や企業と連携することで、学校の垣根を飛び越えた活動をしている。

●草津市立松原中学校 (滋賀県草津市)

「ESDを軸とした持続可能な社会に向かう生徒の課題解決力の育成～地域との協働学習を通して～」をテーマとして、「松原未来学習」と「松原ローカル学習」の2本軸で、3年間系統的かつ連続性のある学習を推進している。松原未来学習とは、「Think globally, act locally」を基本的な考え方としている。昨年度、1年生では、世界の食品ロスの問題から身近な給食の残食を減らすための方策を考え、草津市に提言を行った。松原ローカル学習では、松原中学区で多く栽培されているブランド野菜である「ベジクサ」について調べ、給食の残食減少に向けて取り組んだ。



●うるま市立彩橋小中学校（沖縄県中頭郡）

令和3年、総合学習での「4島お宝発見隊」で、6年生が担当する伊計島の海洋ゴミ問題に着目し、島民を巻き込んだビーチクリーンを行う事でゴミ問題に気づいてもらおうと4島のビーチクリーン活動を行う。その活動を受け翌年は外部より専門家を招聘し、無人島体験・干潟散策・海洋ゴミ問題、サンゴ保全などの海洋学習を行う。その時の5年が中学に進級した機会に小学5年生から中学2年生までの「島嶼地域・探究学習」を始める。

■企画・研究推進部門

●青森県立名久井農業高等学校 FLORA HUNTERS AQUA（青森県三戸郡）

水の惑星と呼ばれる地球。しかし気候変動や人口増加による食糧増産などにより、水不足が世界的な深刻な問題となりつつある。そこで私たちは、密閉容器と超音波ミスト発生装置を用いて貴重な水を有効利用する節水型ミスト栽培システムを開発した。このシステムの特徴は養液をミスト状にして間欠的に供給することである。給水頻度を最適化することで、従来の水耕栽培と比較して、レタスの収量を損なうことなく、約70%の節水、約65%のCO2排出量削減、さらに約84%の肥料節減が可能であることを確認した。

このような節水視点に立って開発された装置や栽培法は例がなく、水不足を抱えている乾燥地帯はもちろん、世界各地で役立つ技術である。この画期的な節水技術はこの夏、スウェーデンにて私たちによって世界公開される予定である。

●清風高等学校 生物部 アオコ班（大阪府大阪市）

絶滅が危惧されているニッポンバラタナゴ（淡水魚）を保護するために、高安の里の環境保全活動を行っている。清風中学生物部は、1999年から、八尾市高安地域の人達の協力を得て改修した溜池（RE-1）で活動を行っている。具体的には、月1回、溜池で定期調査を行い、水質調査や水生生物の観察（主にケイソウ類）、清掃活動、啓発看板の設置等に取り組む。

●山陽学園高等学校 地歴部（岡山県岡山市）

市民はごみの廃棄者であるが、解決者意識・行動が乏しいことが海洋ごみ問題の解決を遅らせている。この課題解決には「誰でも」「簡単に」「遣り甲斐」の市民活動の実現が必要である。私たちは市民が隙間時間で街中ごみの調査が可能なスマホアプリを作成して、市民の遣り甲斐の醸成と市民からの送信データの利活用に取り組んでいる。

●広島県立西条農業高等学校自然科学部（広島県東広島市）

食用コオロギの普及に向けた研究とコオロギ由来の細菌類を活用した作物用肥料の開発を行っている。また、現在生徒が起業し、会社を運営する準備を進めている。会社では、西条農業の各学科で生産された農作物や製品をアレンジした商品を販売する予定であるが、今回の企画の一部である「農薬流出を減少させる素材」はその商品開発の一環も兼ねた研究である。

●沖縄県立宮古総合実業高校 環境班（沖縄県宮古島市）

私達は、地下水保全を目指し、化学肥料由来の硝酸態窒素汚染防止を目的に有機質肥料の研究開発に組み込み実用化、年間6,000袋を製造し農家へ普及している。その成果は、1980年代地下水に含有される硝酸態窒素濃度が8mg/Lを認めたのが、現在4mg/Lの濃度に低減した。しかし、15年ほど前から害虫防除目的でネオニコチノイド系化学農薬が大量に使用され、地下水が農薬に汚染されている現状を確認、大切な地下水を化学農薬汚染から守る活動に挑戦している。

■日本のコカ・コーラシステム サステナビリティ

原液の供給と製品の企画開発やマーケティング活動を行う日本コカ・コーラ株式会社と、製品の製造・販売などを担う5つのボトラー会社および関連会社を日本の「コカ・コーラシステム」と呼んでいます。

日本のコカ・コーラシステムは、環境や日常生活、私たちを取り巻く地域社会などの各場面で、日本が直面する重要な課題に対し、ビジネスを通じて変化をもたらし、さわやかさを届けながら、未来を共創していくことに責任を持って取り組みます。

日本コカ・コーラ サステナビリティ公式サイト: <https://www.cocacola.co.jp/sustainability>

サステナビリティフレームワーク



■公益財団法人 コカ・コーラ教育・環境財団

名称: 公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団
 英字名称: The Coca-Cola Educational & Environmental Foundation
 許可日: 2007年6月25日(※2011年9月27日 公益財団法人へ移行)
 理事長: 佐々木康行
 所在地: 東京都渋谷区 4-6-3
 公式サイト: <https://www.cocacola-zaidan.jp/index.html>
 概要: 2007年6月に37年継続していた日本コカ・コーラボトラーズ育英会と14年継続していたコカ・コーラ環境教育財団の事業を継承し、一元的に運営、推進できる母体として設立、2011年9月より公益財団法人に移行しました。心豊かでたくましい人づくり(Healthy Active Life)を理念とし、国際社会が求める青少年の育成と、彼らを取り巻く地域社会を支える人材の育成を通じ、豊かな国際社会の形成及び国際親善に寄与することを目的とし、内閣府に公益認定を受け、事業を展開しています。
 主な事業内容: 環境教育、奨学支援、災害復旧・復興支援を柱とした各種社会貢献事業



■雨煙別(うえんべつ)小学校 コカ・コーラ環境ハウス

北海道夕張郡栗山町の歴史ある廃校を宿泊可能な施設として再生した「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」は、体験型の環境教育プログラムの拠点であり、特定非営利活動法人 雨煙別学校が、自然体験学習を中心とした教育活動を実施しています。2010年のグランドオープン以来、小学校の宿泊学習をはじめ、大学生の実習やスポーツ合宿、企業研修等、多くの人に利用されています。

公式サイト: <http://uenbetsu.jp/>

